

2018年2月19日 全6頁

## Indicators Update

# 2018年1月貿易統計

春節のずれや船舶輸出など一時的な押し上げ効果があったものの、輸出数量は減少

経済調査部  
研究員 廣野 洋太  
エコノミスト 小林 俊介

### [要約]

- 2018年1月の貿易統計によると、輸出金額は前年比+12.2%（市場コンセンサス：同+9.4%）と前月（同+9.3%）からプラス幅が拡大した。1月の税関長公示レートは112.47円/ドルと、前年比で見ると3.4%の円高水準であった。
- 輸出数量（大和総研による季節調整値）は前月比▲0.3%と4ヶ月ぶりに減少した。地域別に見ると、全体を押し下げたのは米国向け（同▲3.6%）とアジア向け（同▲1.2%）輸出だった。米国向けでは、自動車が大きく減少した。アジア向け輸出では、春節の時期のずれによる中国向け輸出の底上げがあったにもかかわらず、前月比で見れば減少した。押し上げ要因となったのはEU向け輸出（同+2.9%）であった。EU向けでは、船舶の増加が全体を押し上げたようだ。
- 先行きの輸出数量について、海外経済が底堅い成長を続ける中、緩やかな増加基調を維持するとみている。中国経済については、景気減速要因が多いものの、米国、欧州経済の堅調さが、輸出数量の押し上げ要因となるだろう。注意点としては、為替レートの動向が挙げられる。生産拠点の海外移転が進んだ現在、円高による影響は以前と比較すれば小さくなっているがゼロではない。今後一層の円高が進んだ際には日本製品の価格競争力が損なわれることで輸出数量が抑制される可能性がある。

図表1：貿易統計の概況（原系列、前年比、%）

	2017年								2018年 1月
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
輸出金額	14.9	9.7	13.4	18.1	14.1	14.0	16.2	9.3	12.2
コンセンサス									9.4
DIR予想									9.4
輸入金額	17.9	15.5	16.3	15.3	12.1	19.0	17.3	14.9	7.9
輸出数量	7.5	4.0	2.6	10.4	4.8	3.8	5.5	4.5	9.2
価格	6.9	5.5	10.5	7.0	8.9	9.8	10.1	4.6	2.8
輸入数量	5.4	4.2	3.2	2.4	▲0.2	3.2	2.6	5.9	2.6
価格	11.8	10.8	12.6	12.6	12.4	15.3	14.3	8.5	5.2
貿易収支	▲2,064	4,414	4,220	1,095	6,640	2,807	1,071	3,587	▲9,434
税関長公示レート	111.47	110.91	112.41	110.77	109.48	112.40	113.54	112.48	112.47

（注1）貿易収支は億円。税関長公示レートは円/ドルレート。

（注2）コンセンサスはBloomberg。

（出所）財務省、Bloombergより大和総研作成

## 輸出金額は前月比▲1.1%

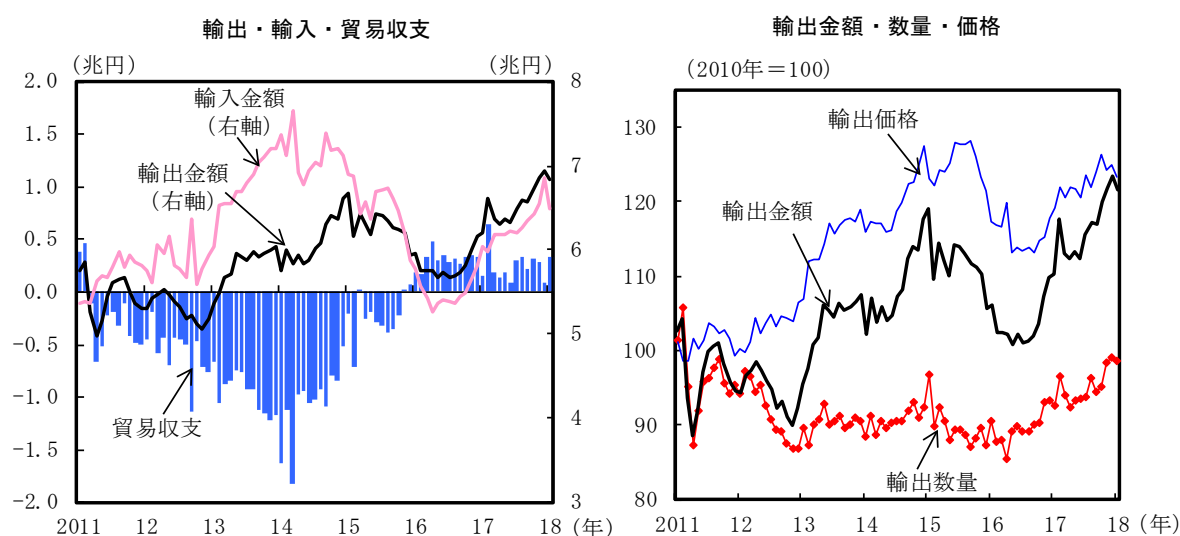
2018年1月の貿易統計によると、輸出金額は前年比+12.2%（市場コンセンサス：同+9.4%）と前月（同+9.3%）からプラス幅が拡大、輸入金額は同+7.9%と前月（同+14.9%）からプラス幅が縮小した。貿易収支は▲9,434億円と8ヶ月ぶりの赤字となった。輸出金額の前年比プラスが大幅に拡大した背景には、中国向け輸出の大幅増（前年比+30.8%）があり、2017年の春節が1月であったのに対し、2018年の春節は2月であることが影響したものとみられる。

輸出金額を数量要因と価格要因に分解すると、数量要因は前年比+9.2%と前月（同+4.5%）からプラス幅が拡大した。価格要因については同+2.8%とプラス幅が前月（同+4.6%）から縮小している。

輸入金額は、数量要因が前年比+2.6%とプラス幅が前月（同+5.9%）から縮小した。価格要因についても同+5.2%と前月（同+8.5%）からプラス幅が縮小している。なお、1月の税関長公示レートは112.47円/ドルと、前年比で見ると3.4%の円高水準であった。

季節調整値で見ると、輸出金額は前月比▲1.1%、輸入金額は同▲5.2%となった結果、貿易収支は3,733億円の黒字となり、前月（907億円の黒字）から黒字幅が拡大した。

図表2：輸出金額・数量・価格、貿易収支（季節調整値）



(注) 輸出数量、輸出価格の季節調整は大和総研。

(出所) 財務省統計より大和総研作成

## 春節のずれや船舶輸出など一時的な押し上げ効果があったものの、輸出数量は減少

輸出数量（大和総研による季節調整値）は前月比▲0.3%と4ヶ月ぶりに減少した。以下で述べる通り、春節のずれや船舶の輸出などの一時的な押し上げ要因があったにもかかわらず、輸出数量は減少している。

地域別に見ると、全体を押し下げたのは米国向け（前月比▲3.6%）とアジア向け（同▲1.2%）輸出だった。米国向けでは、自動車が大幅に減少したほか、自動車の部分品についても全体を

押し下げた。米国向け輸出は、2017年夏ごろをピークに緩やかに減少しているが、自動車や半導体等製造装置の減少が影響しているようだ。

アジア向け輸出では、上述の通り春節の時期のずれによる中国向け輸出の底上げがあったものの、前月比で見れば減少していることから実際の数字よりは、弱い結果であったとみられる。内訳を見ると、ICと鉄鋼の減少が全体を押し下げた。ICは2017年12月に新型スマートフォン需要を背景に急増しており、この反動が出たものとみられる。

一方、押し上げ要因となったのはEU向け輸出（前月比+2.9%）であった。船舶の増加が全体を押し上げた一方、ほかの主要な品目で目立った増加が見られないため、基調としては弱い。

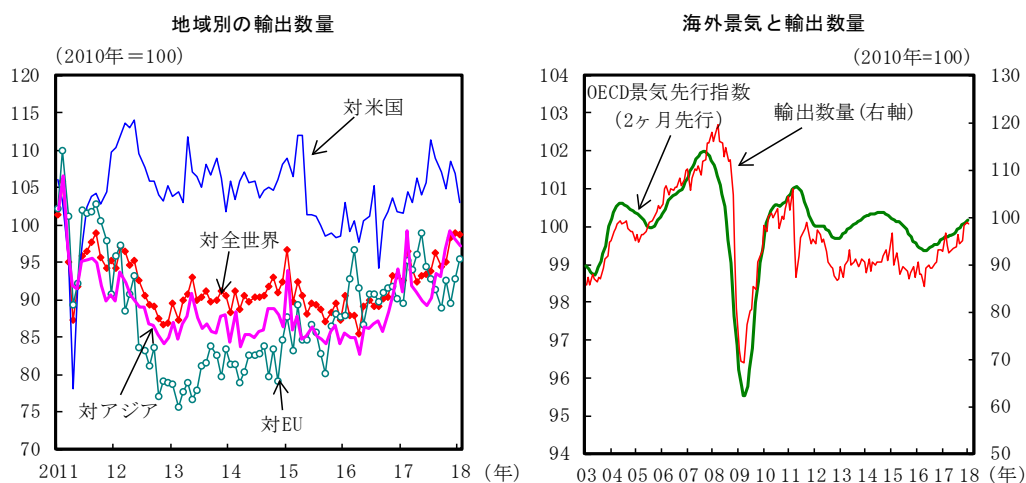
### 輸出数量の見通しは緩やかな増加基調

先行きの輸出数量について、海外経済が底堅い成長を続ける中、緩やかな増加基調を維持するとみている。中国経済については、金融引き締め効果の発現、住宅販売不振に伴う関連投資・消費への悪影響など景気減速要因が多いものの、税制改革による追い風が吹く米国経済と足下の堅調さを維持すると見込まれる欧州経済が輸出数量の押し上げ要因となるだろう。

注意点としては、為替レートの動向が挙げられる。円/ドルレートは2018年1月後半から足下にかけて円高傾向となっている。生産拠点の海外移転が進んだ現在、円高による影響は以前と比較すれば小さくなっているがゼロではない。今後一層の円高が進んだ際には日本製品の価格競争力が損なわれることで輸出数量が抑制される可能性がある。

なお、1月に中国向け輸出を前年比で押し上げた春節の時期のずれは、2月には押し下げ要因となる公算が大きい。しかし、この影響は1月、2月で均して見れば相殺されるため、基調への影響はほぼないとみてよいだろう。

図表3：地域別の輸出数量、海外景気と輸出数量（季節調整値）



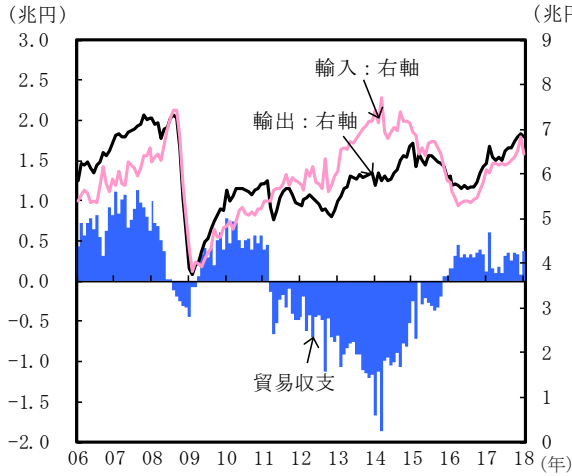
(注1) OECD景気先行指数 (CLI) はOECD諸国とBRICsなど非加盟6ヶ国を集計したベース。

(注2) 輸出数量の季節調整は大和総研。

(出所) 財務省、OECD統計より大和総研作成

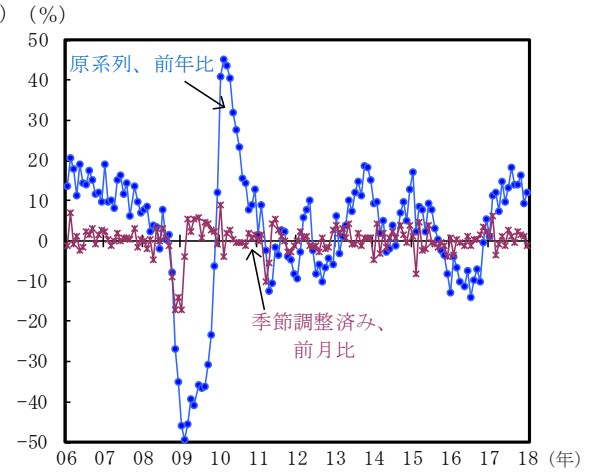
概況

輸出入と貿易収支 (名目、季節調整値)

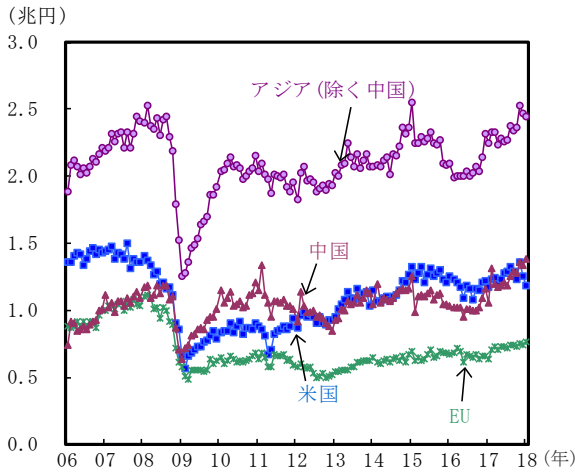


(出所) 財務省統計より大和総研作成

輸出額の変化率 (名目)

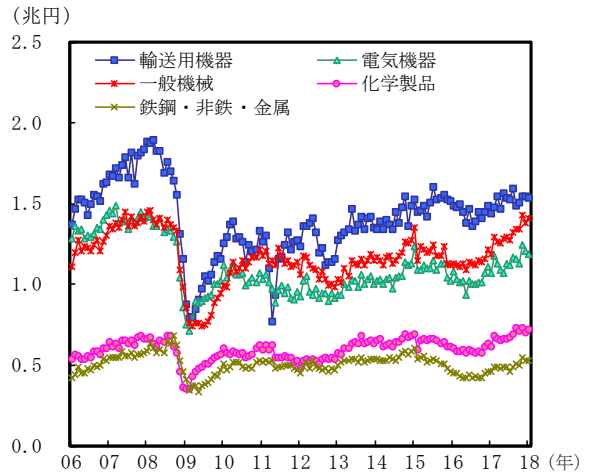


主要地域・国別の輸出額 (名目、季節調整値)

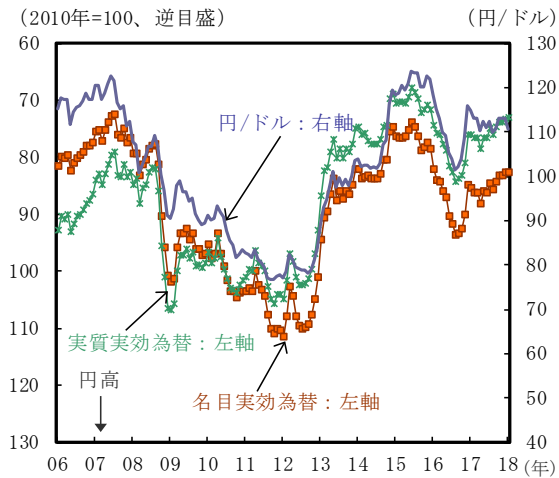


(注) 季節調整は大和総研。  
(出所) 財務省統計より大和総研作成

主要商品別の輸出額 (名目、季節調整値)

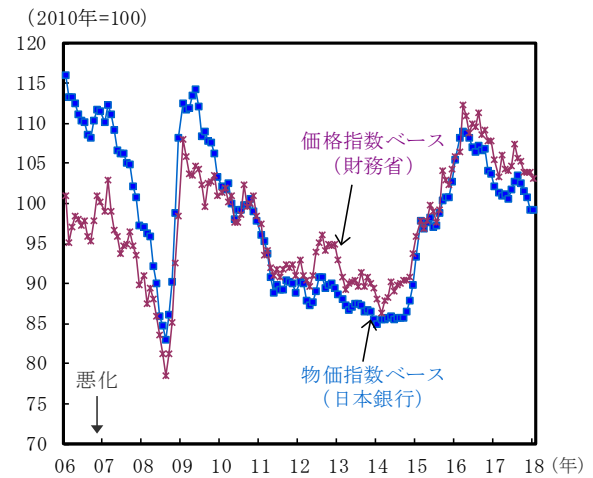


為替相場



(注) 交易条件は、輸出価格指数/輸入価格指数 (輸出物価指数/輸入物価指数)。  
(出所) 財務省、日本銀行統計より大和総研作成

交易条件



輸出金額 内訳								
	2017/08	2017/09	2017/10	2017/11	2017/12	2018/01		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	18.1	14.1	14.0	16.2	9.3	12.2	100.0	12.2
食料品	8.0	3.0	9.7	15.2	12.4	38.3	0.9	0.3
原料品	33.1	34.7	31.3	25.1	9.2	1.7	1.4	0.0
鉱物性燃料	43.1	32.8	22.3	50.7	33.3	▲3.1	1.8	▲0.1
化学製品	19.9	24.7	23.4	20.0	11.1	17.3	11.5	1.9
原料別製品	11.7	16.7	15.2	19.7	12.0	14.3	11.2	1.6
鉄鋼	13.8	15.5	15.6	27.9	16.7	10.0	4.5	0.5
非鉄金属	8.4	24.7	22.2	19.2	13.6	27.4	2.0	0.5
金属製品	11.1	22.5	19.2	15.3	8.1	14.2	1.5	0.2
一般機械	18.5	17.4	17.8	22.9	13.9	18.3	19.6	3.4
電気機器	16.9	14.6	11.4	16.2	9.0	11.6	16.9	2.0
半導体等電子部品	19.1	12.3	9.1	14.2	7.0	5.9	5.1	0.3
I C	23.5	16.3	10.5	15.6	9.4	7.1	3.6	0.3
映像記録・再生機器	▲3.1	▲3.9	3.3	1.5	▲18.8	▲7.0	0.4	▲0.0
音響・映像機器の部分品	▲1.9	▲3.6	▲9.9	0.4	▲27.3	▲5.4	0.3	▲0.0
電気回路等の機器	16.9	20.0	13.3	17.6	10.6	17.8	2.6	0.4
輸送用機器	13.9	3.2	6.4	7.1	4.0	6.2	23.7	1.6
自動車	14.5	3.2	6.5	7.7	5.6	6.7	14.2	1.0
自動車の部分品	18.1	10.8	6.3	13.0	▲0.3	6.9	4.6	0.3
その他	26.4	17.0	16.5	14.8	6.4	12.3	13.2	1.6
科学光学機器	29.4	14.0	16.1	19.4	6.3	4.2	2.8	0.1

米国向け輸出金額 内訳								
	2017/08	2017/09	2017/10	2017/11	2017/12	2018/01		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	21.8	11.1	7.1	13.0	3.0	1.2	100.0	1.2
食料品	4.8	6.3	22.2	22.2	12.1	3.2	0.6	0.0
原料品	54.1	30.3	19.9	10.1	8.9	16.4	0.4	0.1
鉱物性燃料	273.1	▲16.5	▲13.1	▲28.0	158.2	130.6	0.6	0.3
化学製品	10.6	42.5	14.5	29.8	▲4.0	9.4	6.8	0.6
原料別製品	17.6	14.0	10.8	16.3	13.5	12.3	6.8	0.8
鉄鋼	27.6	4.6	19.0	17.5	34.5	38.5	1.8	0.5
非鉄金属	29.4	46.7	29.1	45.7	45.3	15.9	0.7	0.1
金属製品	12.8	20.7	8.2	11.1	▲2.7	▲3.9	1.6	▲0.1
一般機械	20.8	21.0	11.6	23.1	9.2	2.4	22.6	0.5
電気機器	16.5	9.3	0.5	8.9	▲1.3	▲2.0	13.5	▲0.3
半導体等電子部品	▲2.7	▲1.8	▲1.5	15.5	5.6	▲7.7	1.6	▲0.1
I C	11.2	4.8	▲2.3	▲6.9	▲1.6	▲16.7	0.8	▲0.2
映像記録・再生機器	▲14.2	▲13.3	▲0.1	12.8	▲20.0	▲26.9	0.4	▲0.2
音響・映像機器の部分品	147.5	▲4.5	44.9	▲12.7	▲18.7	▲10.0	0.2	▲0.0
電気回路等の機器	1.5	2.0	▲12.1	2.2	▲2.4	3.6	1.5	0.1
輸送用機器	24.8	1.2	0.0	5.9	▲1.7	▲3.6	38.5	▲1.5
自動車	28.3	1.1	▲1.4	3.1	▲2.7	▲3.9	28.4	▲1.2
自動車の部分品	24.8	7.0	3.6	16.3	▲6.0	▲0.3	6.2	▲0.0
その他	24.0	20.4	32.4	23.8	12.1	6.3	10.2	0.6
科学光学機器	20.6	21.2	13.4	22.7	14.5	16.8	2.3	0.3

EU向け輸出金額 内訳								
	2017/08	2017/09	2017/10	2017/11	2017/12	2018/01		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	13.7	11.6	15.8	13.3	11.4	20.3	100.0	20.3
食料品	42.5	4.3	▲13.4	30.8	1.0	17.7	0.3	0.1
原料品	29.7	23.7	39.6	4.4	27.3	28.4	1.1	0.3
鉱物性燃料	▲6.0	45.7	305.7	▲18.6	26.2	▲27.9	0.3	▲0.1
化学製品	31.2	22.0	20.3	32.1	16.1	16.3	9.3	1.6
原料別製品	5.1	12.6	16.4	24.5	18.7	14.4	6.0	0.9
鉄鋼	▲27.3	▲6.7	13.9	52.2	55.8	▲4.9	0.7	▲0.0
非鉄金属	14.5	29.0	48.0	83.6	68.4	48.2	1.0	0.4
金属製品	11.8	23.6	12.3	22.3	9.0	11.4	1.2	0.2
一般機械	18.1	19.3	20.9	21.7	13.1	18.0	23.4	4.3
電気機器	14.6	11.3	12.8	7.4	15.1	9.4	16.4	1.7
半導体等電子部品	15.4	9.0	16.7	12.5	12.5	8.8	2.3	0.2
I C	15.7	9.9	10.6	13.1	5.3	6.4	1.2	0.1
映像記録・再生機器	▲10.8	▲1.2	7.3	8.3	▲22.8	▲8.7	0.6	▲0.1
音響・映像機器の部分品	▲68.0	▲53.9	▲60.6	▲57.0	▲10.7	28.8	0.2	0.1
電気回路等の機器	24.4	25.3	19.7	17.2	25.0	22.1	1.8	0.4
輸送用機器	5.5	7.5	9.7	2.2	▲3.5	22.3	27.8	6.1
自動車	4.4	6.6	9.1	6.5	▲4.8	19.1	15.0	2.9
自動車の部分品	15.1	15.3	11.0	26.8	▲2.5	10.7	5.2	0.6
その他	13.4	2.7	18.6	15.7	30.0	41.6	15.6	5.5
科学光学機器	23.4	20.7	22.7	16.2	28.5	22.3	3.0	0.7

アジア向け輸出金額 内訳								
	2017/08	2017/09	2017/10	2017/11	2017/12	2018/01		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	19.9	18.7	18.9	20.4	10.0	16.0	100.0	16.0
食料品	6.4	1.0	8.6	11.7	8.9	50.2	1.1	0.4
原料品	33.9	39.7	34.0	28.4	7.1	▲1.2	2.0	▲0.0
鉱物性燃料	34.2	20.1	20.3	76.4	30.3	▲14.2	1.9	▲0.4
化学製品	18.9	23.8	25.0	17.9	13.0	18.8	15.7	2.9
原料別製品	11.5	20.1	19.3	22.8	13.7	17.2	14.3	2.4
鉄鋼	13.7	21.0	22.6	34.9	18.0	9.4	6.1	0.6
非鉄金属	8.2	25.2	21.5	17.5	10.9	29.2	3.1	0.8
金属製品	10.6	25.2	25.3	15.3	15.7	23.4	1.6	0.4
一般機械	21.5	19.3	20.9	27.1	15.8	29.8	19.9	5.3
電気機器	18.6	17.3	14.3	20.5	11.5	15.0	21.2	3.2
半導体等電子部品	21.6	13.9	9.6	14.1	6.8	6.9	8.2	0.6
I C	24.7	17.2	11.3	16.9	10.3	8.5	6.1	0.5
映像記録・再生機器	4.0	▲4.8	1.8	▲3.9	▲16.7	2.0	0.5	0.0
音響・映像機器の部分品	22.4	21.9	5.4	27.5	▲28.0	▲2.3	0.4	▲0.0
電気回路等の機器	17.9	21.2	16.9	20.3	12.5	21.5	3.6	0.7
輸送用機器	15.0	13.0	17.4	15.0	▲1.2	11.4	9.0	1.1
自動車	6.6	7.7	22.0	27.8	11.3	27.5	4.0	1.0
自動車の部分品	15.7	11.8	4.1	5.3	2.4	11.9	3.6	0.4
その他	29.8	16.6	17.4	12.2	0.3	6.7	15.0	1.1
科学光学機器	33.1	13.3	17.5	20.9	2.4	▲1.3	3.5	▲0.1

中国向け輸出金額 内訳								
	2017/08	2017/09	2017/10	2017/11	2017/12	2018/01		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	25.8	29.3	26.0	25.1	15.9	30.8	100.0	30.8
食料品	▲14.2	▲29.0	▲11.7	2.7	▲8.7	83.2	0.4	0.2
原料品	29.3	34.9	25.3	20.2	▲7.2	▲23.9	2.0	▲0.8
鉱物性燃料	1.0	32.6	▲24.2	51.1	▲22.9	▲38.0	0.6	▲0.5
化学製品	30.3	41.8	32.7	26.5	15.1	35.5	17.7	6.0
原料別製品	14.6	21.6	25.6	19.6	14.6	35.4	12.1	4.1
鉄鋼	15.8	24.6	24.6	22.8	20.0	20.8	3.9	0.9
非鉄金属	9.2	25.8	39.0	18.9	15.5	57.5	2.9	1.4
金属製品	16.1	28.2	30.9	22.3	21.0	34.9	1.7	0.6
一般機械	41.2	44.6	44.5	40.1	36.4	62.7	23.6	11.9
電気機器	18.7	22.4	18.2	26.2	17.7	27.3	22.5	6.3
半導体等電子部品	18.5	19.6	9.6	16.5	21.9	11.6	7.0	0.9
I C	17.4	21.7	9.0	18.1	30.8	11.7	5.1	0.7
映像記録・再生機器	4.9	4.8	22.8	6.1	▲4.3	14.0	0.6	0.1
音響・映像機器の部分品	8.2	15.1	▲7.8	33.6	▲31.4	▲8.0	0.6	▲0.1
電気回路等の機器	28.4	30.7	36.6	34.7	22.8	57.1	4.4	2.1
輸送用機器	7.9	15.8	10.8	6.0	4.8	25.4	8.9	2.3
自動車	▲9.4	13.0	26.4	8.9	17.2	45.7	3.8	1.5
自動車の部分品	24.5	18.4	▲1.0	4.1	▲3.6	11.8	4.9	0.7
その他	37.9	28.2	24.9	21.5	3.1	7.7	12.3	1.2
科学光学機器	47.4	16.4	18.5	17.9	▲0.5	▲3.6	5.3	▲0.3

(出所) 財務省統計より大和総研作成